

# 城里町地域福祉に関する町民意向調査

## アンケート結果をお知らせします

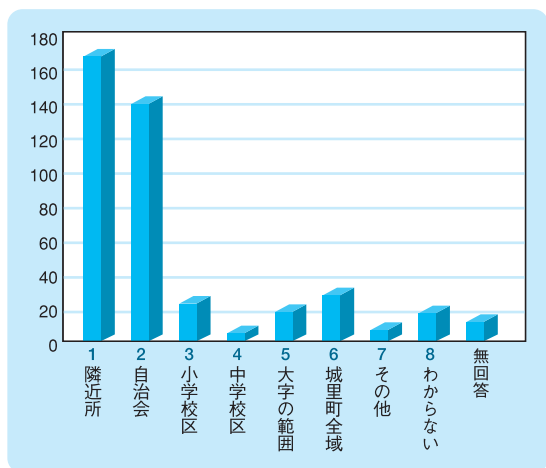
町では、「城里町地域福祉計画」を策定しています。

計画づくりのはじめとして、町民の皆さんに地域福祉活動の現状や福祉意識について尋ねるアンケートをお願いし、多くの回答をいただきました。主な結果を紹介します。

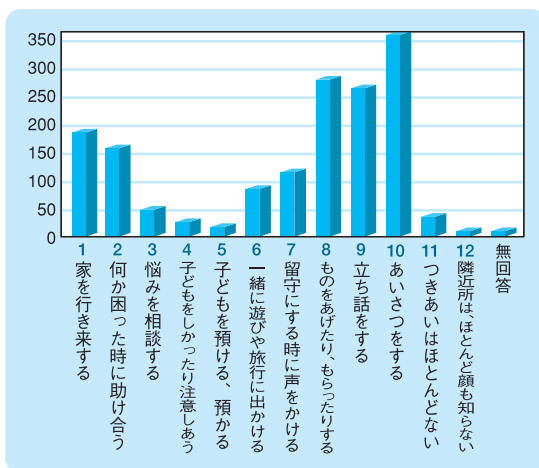
- 調査数  
町内在住の満18歳以上の男女1,000人
- 調査期間  
平成19年2月～3月31日
- 回収結果



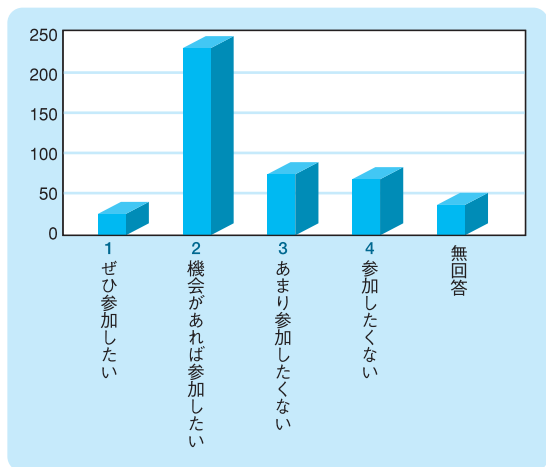
	回答数	回答率
男	179 通	17.9 %
女	218 通	21.8 %
無回答	27 通	2.7 %
合計	424 通	42.4 %



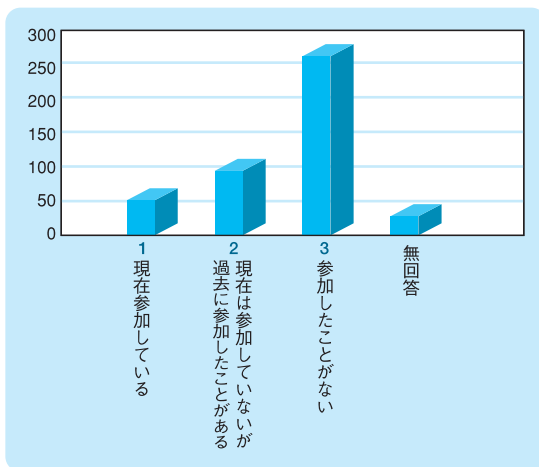
Q あなたにとって、「住民が互いに助け合うべき「地域」とは？



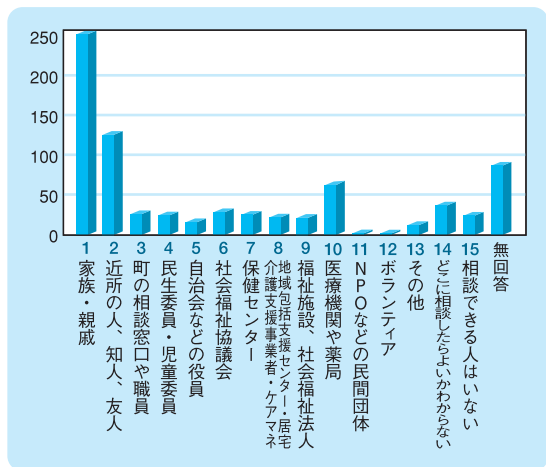
Q あなたは、普段近所の人と、どの程度のつきあいをしていますか？



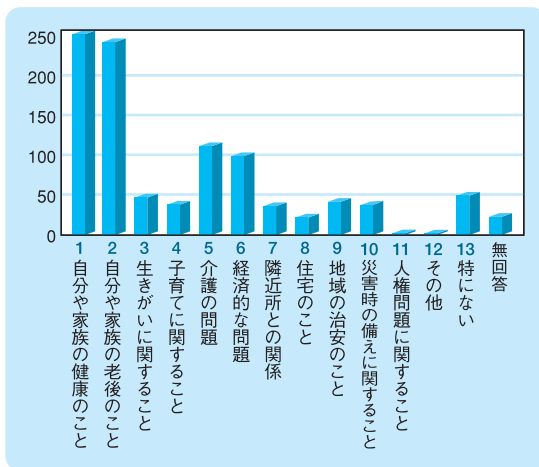
Q あなたは、今後ボランティア活動に参加したいと思いますか？



Q あなたは、これまでにボランティア活動に参加したことがありますか？



Q その悩みを誰に、若しくはどこに相談していますか？



Q あなたは、現在どのような悩みや不安を感じていますか？

## 自由意見

アンケートに寄せられた、地域福祉に関する意見の一部を紹介します。

●私も、町内に住む一老人ですが、でも老人とは思っていません。耳がちよつと不自由ですが、そんな事気にしていません。自分の体の様子を見ながら色々な事に手を出しています。

城里町の町民一人一人が、元気にあります様にと、どんなことにも協力しています。

(女性、70歳～79歳)

●行政、医療者、福祉スタッフ、福祉業者、住民など福祉に関わるあらゆる人々がいつも連携していること(コミュニティケア)が、重要だと思います。普段から顔を合わせているような集まり、勉強会やフォーラムなど)が、できるとよいですね。

栃木県栃木市は、この近隣の福祉の先進都市だと思います。(ご参考まで)

(男性、18歳～29歳)

●ボランティアをしながら自分も健康になる。もったいない気持ちを今の人達にもわかつてほしい。

城里町へ来て5年、近所のつきあひも少なく、もう少し自治会などで顔をあわせる機会があっても良いな

と思っています。

●ボランティアの活動において、表彰などをもっと充実してほしい。

(女性、50歳～59歳)

●どんなに老人や障害者を優先し、サービス向上に努力しても、それでも健常者のように自分で満足したり、ちよつとした要望も通りにくいのが現状です。それに向かって社会が努力しているのも事実ですが、やっぱり何が足りないって「人」です。

支援する人(人件費)です。人件費を大きく取って豊かな人を使って障害者に接していかなければ、弱者の満足は得られないと考えます。お金を正しく使える人に理解してもらい、私たちも老人も障害者も人生の満足度を平等にしたいです。

(女性、30歳～39歳)

●城里町に住んでいる全員の意識改革が必要。高齢者が益々増える中、介護される人が増え、介護する人の負担が増えれば、この町から転出者が多くなることも予想される、いかに介護される人を減らしていくか、福祉サービスの充実よりもそちらの方が先決のような気がする。

(女性、40歳～49歳)

●若年老人(60歳以上)のボランティア参加を啓発し、かつそれらを組織化する取り組みの推進。

(男性、60歳～69歳)

●地域福祉の基盤整備が第一で、自治会あたりから始めなければ隣近所

(男性、60歳～69歳)

の人もわからないのでは、福祉どころではないと思うこの頃です。

(女性、60歳～69歳)

●高齢化が進み介護を必要とする人が増加すると思われま。昔のように各家庭で年寄りを面倒見るような啓発も必要ではないか。

(男性、50歳～59歳)

●町は、福祉関係の取り組みをしているところでしょうが、どのようなことをしているのかわからない。町民にもう少しPRしてほしいと思う。

ボランティアを一生懸命やっている方もたくさんいます。その方々がやっていることや取り組んでいることもどんどん町民に知らせ、ボランティア活動の理解と啓発を図っていくことが必要だと思う。

(男性、50歳～59歳)

●自治会住民の高齢化に伴い自治会の弱体化する事が一番心配。

(男性、80歳～99歳)

●老人の福祉には、力をいれている様ですが、障害者の福祉が、城里町は他の市町村より遅れているので、力をいれてほしい。予算もサービスも。特に障害者のデイサービス、グループホームに力を入れて欲しい。

(女性、50歳～59歳)

●福祉に対する要望は、個人の生活環境によって様々であると思います。何でも相談できる窓口を設置して欲しいと思います。

(男性、18歳～29歳)

## 地域福祉計画とは

平成12年にそれまでの「社会福祉事業法」から改正された「社会福祉法」において、誰もが住みなれた地域社会で自立した生活を送るため、行政、地域住民や民間の福祉関係者が互いに協力して取組む「地域福祉」がより重要な概念として盛り込まれています。

この「地域福祉」を具体的に実現していくための目標として、住民に最も身近な市町村が策定するのが「地域福祉計画」です。



シーが守られる事、過剰なサービスはいらないと思います。あくまでも本人の人權を尊重し、自然体で援助できる事が望ましいと思います。一人暮らし高齢者に対しては、楽しみや気分転換できるサポート等が必要。

(男性、50歳～59歳)

●安心して老後を送れるような地域を希望します。

(女性、40歳～49歳)